



組んでまいります。

12 ブランディング

「久米島らしさ」として象徴される自然・文化・歴史、食、人々の営みを言語化・視覚化することが、来訪者の関心を高め、地域住民の誇りの醸成に繋がります。

久米島紬や島の食材、伝統行事等の地域資源を活用したブランディング化を推進し、産業の振興や地域の魅力化に繋げてまいります。

13 情報発信

町ホームページ、町広報誌、ラジオ広報に加え町公式LINE等のSNSを活用した情報発信・提供に取り組みます。また、町公式ラインの活用については、行政サービスの手続きや申し込みが行えるようDX推進を図り、町民サービスの効率化や手続きの簡素化に努めてまいります。

移住定住については、居住環境の確保が優先課題となっており、空き家相談窓口の設置や改修・除却支援等の施策に取り組んでまいりました。

14 行財政運営

より空き家の活用促進を図られるよう、民間ノウハウを活用しながら居住環境の確保に、引き続き取り

はじめ、職員の負担軽減を図りながら、また組織横断的な行政運営により、町民サービスの向上に努めてまいります。

安定的に行政運営が持続できるよう、中期財政計画を基に財政運営を行い、財政の健全化を維持しながら、町づくりに取り組みんでまいります。



以上、令和8年度の主な施策について申し述べました。

令和8年度の一般会計

当初予算について、税収面では伸び悩む状況が続いており、厳しい財政環境が今後も続くものと思われれます。歳出面においては、これまでと同様に扶助費などの社会保障関係費の増加や、電気料金をはじめとした物価高騰、公共施設の維持管理による物件費の増加、特別会計への繰出金等、避けては通れない状況が続いております。

こうした旺盛な財政需要や多様な住民ニーズに対応すべく、国や県の予算編成の動向を注視しつつ、可能な限り補助金や交付金などの特定財源の確保に努めるとともに、持続可能な行財政運営に取り組みでまいります。

本町の最重要課題である人口減少が進む中、産業の人手不足や空き家の増加が顕在化しております。

移住・定住の推進や外国人人材の活用による人手確保、民間との連携による空き家対策の充実等、あらゆる施策を展開しながら解決に向け取り組んでまいります。

結びに

私は就任当初から、「全ての世代が生き生きと暮らせるまちづくり」を目指して町政運営に取り組んでまいりました。

まだまだ多くの課題がありますが、今後も地域の課題解決に向けて、行政と町民、地域が連携したより良いまちづくりを推進してまいります。

町民の皆様には安心して暮らす生活・暮らしを実感いただくためには、子育て支援や教育・福祉・医療の充実はもちろんですが、町民生活を安定させる産業の振興、経済活性化が重要です。「第3次久米島町総合計画」で基軸とする産業の発展を図り、町内総生産額と町民所得の向上・発現に努めてまいります。

町民の皆様ならびに議員の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。私の施政方針といたします。

令和8年3月3日

久米島町長 桃原秀雄